



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

科学的根拠に基づいた歯科医療とは

顎顔面口腔外科 診療科長・教授 代田 達夫

エビデンスという言葉を目にされたことがあると思います。エビデンスとは治療や検査法について、それは効果がある、効果がない、などと判断する際に根拠となるものです。また、根拠に基づいた医療のことをEvidence-based medicine、略してEBMと言い、私たち医療者には大変重い言葉となります。

EBMは厳格に審査された質の高い臨床論文に記載されている情報、患者さんの価値観や状況、そして医療者の経験や専門性といった臨床能力を統合することで成り立つとされています。科学的な裏付けのない、その道の権威と称する人の意見や単なる経験則による治療を実施しても、効果が期待できないこともあるのです。

例えば口腔顔面領域の感覚は非常に繊細であるために、「口の中がピリピリと焼けるような痛みを生じる」、「唾液がねばねばする」、「口腔内がざらざらする」などといった症状で悩まれている患者さんがいらっしゃいます。このように口腔内や顔面領域にみられる原因不明の不快症状を総称

して口腔異常感症と言いますが、この分野は未だにEBMが確立されておらず、治療に難渋するものが少なくありません。

EBMの利点は、患者さんに多くの研究成果に基づいた信頼性の高い治療を提供できることであり、高い治療効果や薬の副作用の軽減が期待できます。したがって、歯科医療においてもEBMは医療の質と安全性を担保する上で重要であると言えます。

医療の進歩と共に、新たな知見が生み出されていますので、根拠のない独りよがりの医療行為は厳に慎まなくてはならないと思います。日々の診療の中で疑問や問題に遭遇した時には、文献を検索し、その内容が信頼できるものなのかを私たち自身で確認することが大切です。そして、臨床研究やガイドラインに記載されている情報が、治療法を選択する上で適切なものなのかを患者さん毎に慎重に検討するという姿勢をこれからも大切にしたいと思います。



- P1 巻頭言 科学的根拠に基づいた歯科医療とは
- P2 診療科紹介 顎顔面口腔外科
- P3 新入職員ご挨拶、施設紹介 食堂
- P4 患者満足度調査結果報告、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

■ 患者さん向け、 ■ 医療機関向け、 ■ お知らせなど

診療科紹介：顎顔面口腔外科

顎顔面口腔外科 診療科長補佐・講師 佐藤 仁

顎顔面口腔外科では、埋伏智歯や顔面外傷、口腔粘膜疾患、良性腫瘍、悪性腫瘍など診療の対象となる疾患は多岐にわたり、一般の歯科医院では対応の難しい疾患を対象として診療を行っています。その中でも近年、顎変形症に関する手術の症例数は顕著な増加傾向にあり、2021年度は約90件であった手術件数が、2022年度は100件を超え、2023年は147件となっております。

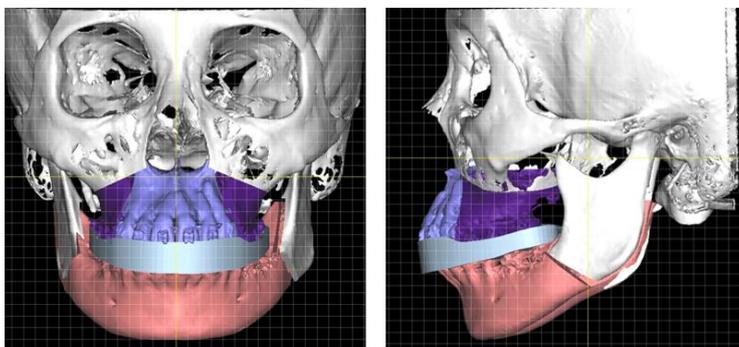
当院での顎変形症の手術は、デジタル技術を活用し、CT画像と専用のソフトウェアを用いた術前計画（シミュレーション）を行います。本来、上顎の位置決めを使用する中間スプリントは、フェイスボウトランスファーを用いて咬合器上で作製しますが、当院ではシミュレーションソフトウェアのデータを元にしたCAD/CAMスプリントを作製します。

これにより、煩雑な中間スプリントの作製作業が不要となるだけでなく、手術精度の向上が得られます。さらには、術中ナビゲーションシステムを用いることで、上顎の位置決めを術中にリアルタイムで確認することが可能であり、術前に行なった手術シ

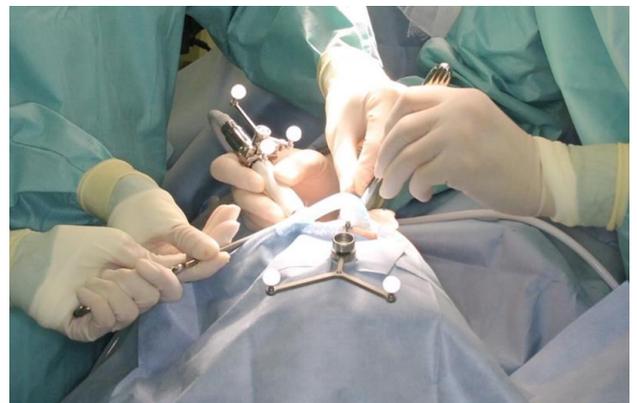
ミュレーションとの誤差が1mm以下となるような精度の高い手術を行なっています。

最近では、骨片の固定には術後に除去を行う必要のない吸収性骨接合材料なども積極的に応用しており、患者負担をなるべく減らすための工夫も行なっております。その適用範囲はまだ限られてはおりますが、今後は、さまざまな症例に対して適用を拡大していく予定です。われわれは常に機能や形態を可能な限り温存することを念頭におき、デジタル技術を駆使し診療にあたっております。このデジタルワークフローは決して表には出てこない多くのスタッフの協力に支えられております。また、どんな診察や治療、手術であっても口腔外科医一人ではそれを実行できません。

今後も医局員・スタッフ一同、最善の医療を提供するという共通の目標を持ち、診療技術の向上に修練を重ねて参ります。これからも各診療科だけでなく、地域医療機関の先生方にも病診連携という形で協力をお願いする機会も多くあるかと思われます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



ソフトウェアを用いたCAD/CAMスプリントのデザイン



術中ナビゲーションを用いた実際の手術風景

新入職員 ご挨拶

本年4月より保存修復科に入局しました渡邊仁美です。

私は鶴見大学を卒業後、昭和大学歯科病院で研修させていただき、ここで働く先生方の姿を見て、う蝕予防やCAD/CAMシステムというデジタル機械を用いたセラミックの詰め物の治療、ホワイトニング等を中心に行っている保存修復科にてもっと学びたいと思い入局させていただきました。

私は研修医の時にホワイトニングを経験してみても、白い歯は自分の自信に繋がると感じました。

当科は、美しい口もとになることを希望される患者さんが多く来院されます。健康的で白く美しい歯となり、より魅力的笑顔になれるような診療を行い、患者さんに満足していただけるよう日々努力しております。

どうぞよろしくお願いいたします。

保存修復科 助教（歯科） 渡邊 仁美

本年4月より顎顔面口腔外科に助教（歯科）として入職いたしました、松岡かれんと申します。

私は学生時代より口腔外科に興味を持っておりました。昭和大学歯学部を卒業後、昭和大学歯科病院の口腔外科にて臨床研修を行い、さらにその興味が増しました。口腔外科の先生方が医療人として至誠一貫を体現する姿に尊敬の念を抱き、ぜひ医局の一員として働きたいと思うようになり、入局を希望しました。患者さんの苦痛に寄り添い、さまざまな医療従事者の方々と連携をとりつつ、皆さまが快適に暮らせる支えになりたいと思っております。

昭和大学のさらなる発展に寄与できますよう未熟ながらも精一杯努力いたしますので、宜しく願いいたします。

顎顔面口腔外科 助教（歯科） 松岡 かれん

施設紹介：食堂

事務課管理係

2号棟地下一階食堂では、真夏の暑さを乗り切る食欲をそそるメニューを最高のコストパフォーマンスでご用意しております。

ボリュームはもちろん、味にもこだわり、スタミナが付く料理を中心にメニューを構成しております。

暑い日が続きますが、皆様のご来店、心よりお待ちしております。

<日替わりメニュー例>



患者満足度調査結果報告

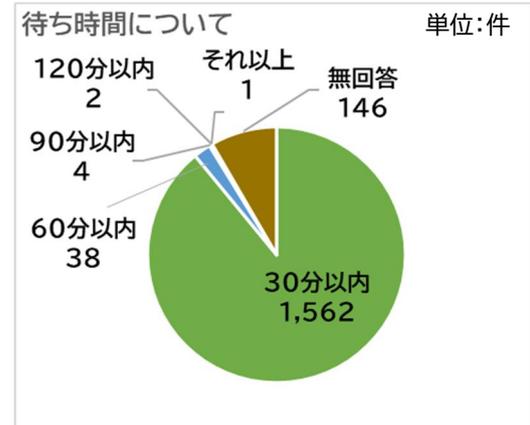
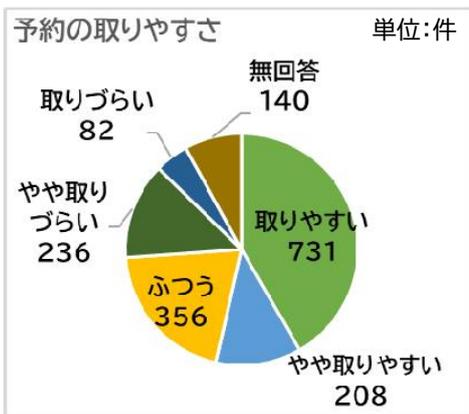
患者サービス向上委員会

2024年1月27日～2月2日・3月11日～3月16日の間で患者満足度調査を実施し、アンケート回収枚数1,753枚のご回答をいただきました。調査にご協力いただきまして誠に有難うございました。皆様よりいただきました貴重なご意見は、今後のサービスの向上に活かし、より一層安全かつ質の高い医療を目指して改善に努めて参ります。



総合的に100点満点中何点になりますか

総合評価	回答数	割合	平均点
2023年度	1,455	83.0%	87.5
2022年度	1,127	82.6%	87.1
2021年度	1,237	83.3%	88.0



【その他のご意見(抜粋)】

- ・ 障害者用の駐車場を無料にしてほしいです。

〔回答〕当院の駐車場は『障がい者手帳』を守衛室にご持参いただけますと駐車料金を無料にさせていただきます。今後、支払機付近に掲示し、ご案内するようにいたします。

- ・ 院内を訪れる患者さんもマスクはまだ必要ですか？

〔回答〕昭和大学(全附属病院)では、新型コロナウイルスの感染状況を随時確認しています。未だ感染力が強く、院内・病棟での感染拡大防止のため、しばらくはマスクの着用をお願いしています。
(実施有無については継続的に検討しております)

編集後記

7月に入り、梅雨明けはまだにもかかわらず、驚くほどの暑さが続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

7月後半からパリ五輪が開幕となります。パリとは7時間の時差があるので、寝不足にならないように自分の体調と相談しながら応援しましょう!! がんばれニッポン!!

(K.Y)

